

教科:(英語) 科目:(論理・表現I) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:大野 ㊟)(2組:渋谷 ㊟)(3組:小幡 ㊟)(4組:渡部 ㊟)(5組:渋谷 ㊟)(6組:大野 ㊟)

使用教科書:開隆堂・東京書籍

使用教材:Revised Amity I English Logic and Expression・Listening Pilot Level1

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学卒業～高校1年までの基本的な語彙・文法を定着させる</li> <li>・日常的なテーマについて、適切な英文を書くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的なテーマについて、適切な内容を英語で表現できる</li> <li>・日常的な会話や対話の大意を理解し、適切に回答したり、その内容を答えることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて、適切な文法事項や語彙を使用して、表現している</li> <li>・与えられた条件だけではなく、自ら学習に向けて、努力している</li> </ul>

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	○英語の授業への取り組み方、身に付けるべき力、評価の仕方等について理解する。	・授業態度 ・活動と課題の取組状況			○	1
Lesson1 自己紹介をしよう！	○be動詞、一般動詞（現在形）を使って英文を書いたり、自己紹介をすることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4
Lesson2 昨日何をした？	○be動詞、一般動詞（過去形）を使って英文を書いたり、過去の出来事について相手にわかりやすく伝えることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4
Lesson3 今、何してる？	○進行形を使って英文を書いたり、今していることや過去のある時点にしていたことについて相手にわかりやすく伝えることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度 ・英会話テスト	○	○	○	4
5月						
Lesson4 花粉症ってつらい？	○未来を表す表現を使って英文を書いたり、今後の予定について相手にわかりやすく伝えることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4
パフォーマンステスト	○これまでに学んだ表現を活用し、「自分の好きなもの」に関するプレゼンテーションを行い、相手にわかりやすく伝えることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査	○Lesson1~Lesson4までの定着度の確認	定期テスト	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Lesson5 手伝ってくれる？	○助動詞(can, may)を使って英文を書いたり、英語で手紙を書く技能を身につけることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	5
	Lesson6 浅草寺に行こう	○助動詞(must, should)を使って英文を書いたり、守らなければならないルールについて発表することができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	5
	Lesson7 漢字を学ぶ秘けつ	○現在完了形を使って英文を書いたり、自分の趣味や関心のあることについて発表することができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度 ・英会話テスト	○	○	○	5

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月							
11月	Lesson8 秋葉原ってすごい！	○現在完了形、現在完了進行形を使って英文を書いたり、自分の将来の夢と今頑張っていることについて発表することができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	5
	Lesson9 手づくりパン	○受動態を使って英文を書いたり、好きな本や作品について相手に紹介することができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度 ・英会話テスト	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
12月	期末考査	○Lesson5~Lesson9までの定着度の確認	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	1
	パフォーマンステスト	「自分の夢と今頑張っていること」に関するプレゼンテーション	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4
1月	Lesson10 ギネスに挑戦!	○比較級や最上級を使って英文を書いたり、友人や家族について紹介する技能を身につけることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4
	Lesson11 大きなお弁当	○同等比較や倍数比較を使って英文を書いたり、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度 ・英会話テスト	○	○	○	4
	Lesson12 アイドル最高!	○動名詞を使って英文を書いたり、自分の好きなことについて理由と合わせて発表することができる。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・授業態度	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	論理・表現Iの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	パフォーマンステスト	○「訪れたい国・場所」について、日本と比較した場合の特徴を交えながら伝え合うことができる。		○	○	○	5
3月	期末考査	○Lesson10~Lesson12までの定着度の確認	定期テスト	○	○	○	1

教科:(英語) 科目:(英語コミュニケーション I) 単位数:4単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:松下・村田 ㊟)(2組:渋谷・スミス ㊟)(3組:渋谷・スミス ㊟)(4組:松村・小幡 ㊟)(5組:松下・スミス ㊟)(6組:渋谷・小幡 ㊟)

使用教科書:All Aboard! English Communication I Revised

使用教材:All Aboard! English Communication I Revised WORKBOOK

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーション I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	英語の授業についてのオリエンテーション ①授業で使用する持ち物の確認 ②英語の単位取得と評価についての説明 ③授業中での諸注意	・授業態度 ・活動と課題の取組状況			○	2
Pre-Lesson 1~2	それぞれの文法項目を踏まえながら、自己紹介等ができるようになる 1 be動詞 2 一般動詞 1 自己紹介 2 友だちに質問する	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	4
Lesson 1 Breakfast around the World	好きな食べ物について、英語で伝えることができる。 「過去にしたこと」について伝える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
中間考査	Pre-Lesson 1~2、Lesson 1の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○		1
5月						
Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	好きな動物について、英語で伝えることができる。 「今していること」「そのときしていたこと」について説明する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
Lesson 3 Life with Spade	出かける予定の場所について、英語で伝えることができる。 自分ができることについて伝える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーション I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査	Lesson 2、Lesson 3の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○		1
	1学期の復習	文法、語彙を中心に、1学期に学習した内容を復習する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	7

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーション I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	Lesson 4 A Miracle Mirror	行ってみたい場所について、英語で伝えることができる。 今週末にやりたいことについて伝える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
	Lesson 5 A Dream Engine	将来の夢について、英語で伝えることができる。 先週末に楽しんだことについて伝える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12

指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅠの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中間考査	Lesson 4～5の定着度の確認	・ 考査得点 ・ 提出物	○	○		1
11月	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	好きな絵について、英語で伝えることができる。 人や物に焦点をあてて、「○○は…される」と説明する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	12
	Lesson 7 A Diary of Hope	自分に影響を与えた人物について、英語で紹介することができる。 2つ以上のものを比べて説明する。	・ 活動と課題の取組状況 ・ 理解度 ・ ノート ・ 小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーションⅠの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査	Lesson 6～7の定着度の確認	・考査得点 ・提出物	○	○		1
	2学期の復習	文法、語彙を中心に、2学期に学習した内容を復習する。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	7
1 月	Lesson 8 A Door to a New Life	ロボットについて、英語で意見を述べることができる。 「…したことがある」という経験を伝える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12
	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	環境を守るためにできることについて、英語で述べる ことができる。 人や物に「…している」「…された」という説明を加える。	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	12

	指導内容 【年間授業計画】	英語コミュニケーション I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月							
3月	学年末考査	Lesson 8、9の定着度確認	・考査得点 ・提出物	○	○		1
	3学期のまとめ	3学期の文法項目の復習する 春休みの宿題について準備する	・活動と課題の取組状況 ・理解度 ・ノート ・小テスト	○	○	○	7

教科:(芸術) 科目:(音楽Ⅰ) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)(2組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)(3組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)(4組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)(5組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)(6組:吉田 拓真<sup>Ⓢ</sup>)

使用教科書:MOUSA1 (教育芸術社)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月 オリエンテーション	授業の進め方 評価方法 注意事項	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 音楽の諸要素を学べる鑑賞	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
5月 歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 授業内テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
7月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 音楽の諸要素を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1

	指導内容 【年間授業計画】	音楽 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
11月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2

	指導内容 【年間授業計画】	音楽Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 ギター 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 器楽 鑑賞						
	歌唱 器楽 鑑賞						
1 月	歌唱 器楽 鑑賞						
	歌唱 創作 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 パソコンを使った創作活動 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 創作 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 パソコンを使った創作活動 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				2
	歌唱 創作 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 パソコンを使った創作活動 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
	歌唱 創作 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 パソコンを使った創作活動 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1
歌唱 創作 鑑賞	校歌、教科書に掲載されている歌 合唱 世界の諸民族の音楽を学べる鑑賞 パソコンを使った創作活動 小テスト	観察 プリント 歌唱試験 器楽試験 関心意欲態度				1	



教科:(保健体育) 科目:(保健) 単位数:1単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:金子 ㊟)(2組:金子 ㊟)(3組:本島 ㊟)(4組:本島 ㊟)(5組:本島 ㊟)(6組:本島 ㊟)

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
4月	1, 健康の考え方と成り立ち	健康の考え方が変化していることを、例をあげて説明できる。健康をなり立たせている要因を挙げることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	2, 私たちの健康の姿	健康水準の変化とその背景を説明できる。現在の健康問題をあげることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	3, 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり	なにが重要かを説明できる。環境づくりの特徴を説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
5月	4, 生活習慣病とその予防	例をあげなぜその病気が生活習慣病と呼ばれるか説明できる。予防する方法を説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	5, 食事と健康	健康にとっての食事の意味について説明できる。健康的な食事のポイントをあげることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	6, 運動・休養と健康	運動が健康に及ぼす影響と運動の行い方について説明できる。休養の意味と適切な休養の取り方について説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	7, 喫煙と健康	喫煙者やその周辺の人に起こる害を説明できる。日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	期末考査			○	○	○	1
	8. 飲酒と健康	短期的影響と長期的影響を説明できる。健康問題に対する個人や社会環境への対策例をあげることができる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	8, 飲酒と健康	短期的影響と長期的影響を説明できる。健康問題に対する個人や社会環境への対策例をあげることができる	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	9, 薬物乱用と健康	心身の健康や社会に与える影響について説明できる。乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
	10, 感染症とその予防	新たな感染症の問題に対して例をあげ説明できる。予防対策について社会と個人に分けて説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	1 1, 感染症とその予防	新たな感染症の問題に対して例をあげ説明できる。予防対策について社会と個人に分けて説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
11月	1 1, 性感染症・エイズとその予防	性感染症とは何かを説明できる。予防対策について個人と社会とに分けて説明できる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	1
	1 2, 欲求と適応機制	人間の欲求の種類を説明できる。欲求不満に対するための適応機制の例をあげることができる。	ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。	○	○	○	2
			ノート・教科書の忘れがないか。板書をきちんと書いているか。授業を聞く態度がしっかりしているか。				1

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
12月	13, 心身の相関とストレス	心と体の働きが相互に影響し合う関係を例をあげて説明できる。ストレスの心理・社会的要因と物理的要因の例をあげることができる。	○	○	○	1
	14, 心の健康のために	ストレスのさまざまな対処法の例をあげることができる。自己実現と心の健康の関係を説明できる。	○	○	○	1
	期末考査		○	○	○	1
1月	15, 交通事故の現状と要因	若者の交通事故の特徴を説明できる。交通事故の発生に関する要因を例おあげて説明できる。	○	○	○	2
	16, 交通事故を防ぐために	運転者に必要な資質と責任を説明できる。安全な交通社会づくりのための対策を例をあげて説明できる。	○	○	○	1
	17, 応急手当の意義とその基本	適切な応急手当の意義を説明できる。傷病者を発見したときに確認・観察するポイントをあげることができる。	○	○	○	1

指導内容 【年間授業計画】	保健の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	18, 日常的な応急手当	日常的なけがの応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。	○	○	○	1
						2
3月	19, 心肺蘇生法の原理とおこない方	胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる。	○	○	○	1
	学年末考査		○	○	○	1
	振り返り	振り返りができる。	○	○	○	1

教科:(体育) 科目:(体育(男子)) 単位数:3単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (2組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (3組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (4組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (5組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (6組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印))

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	体育(男子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 体育理論 体力テスト	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(50m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができてきているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
	体育祭練習	大縄跳び リレーの練習 ムカデ競争 矢切の渡し	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	2
5月	陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができてきているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	6
	柔道	ドリル運動 受け身	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	3
	陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができてきているか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
	柔道	ドリル運動 受け身	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4



	指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	水泳	クロールの息継ぎができるようになる。 足をつかずに2.5m泳ぎ切れる。	・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか	○	○	○	3
	バスケットボール	各種バスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6
	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	バスケットボール	各種バスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6
						4	
11月	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	6
	サッカー	各種バスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	サッカー	各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6
1 月	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	6
	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	3
	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	体育（男子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力	○	○	○	3
3月	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・ 授業に臨む意欲、態度 ・ 安全への配慮 ・ 持久走の記録	○	○	○	3
	柔道	ドリル運動 受け身 寝技 投げ技	・ ボディーバランス ・ 身体の巧緻性 ・ 安全への理解 ・ 積極性と協力 ・ 練習の企画力	○	○	○	2

教科:(保健体育) 科目:(体育(女子)) 単位数:3単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (2組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (3組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (4組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (5組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印)) (6組:袁輔・本島・金子・金澤・小松崎(印))

使用教科書:最新保健体育(大修館)

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身に付けるようにする。	互いの違いやよさを言語や文章などで表現し、根拠を持って相手に伝える力を身に付ける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する自己の責任を果たし、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	体育(女子)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション 体育理論 体力テスト	体育の授業を受けるにあたって、注意することと本年度の目標について理解する。スポーツテスト種目(50m走、ハンドボール投げ、持久走)を正しくきちんと計測することができる。	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができていないか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
	体育祭練習	大縄跳び リレーの練習 ムカデ競争 矢切の渡し	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	2
5月	陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができていないか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	6
	ダンス	現代的なリズムのダンス(リズムと動き)	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	3
	陸上競技	短距離走(50m走、100m走、50mH走)	・授業に臨む意欲、態度 ・スタートダッシュができていないか ・最後まで頑張って走ったか	○	○	○	4
	ダンス	現代的なリズムのダンス(リズムと動き)	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4



	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	水泳	クロールの息継ぎができるようになる。 足をつかずに25m泳ぎ切れる。	・授業に臨む意欲、態度 ・水を怖がらずに入水できるか ・安全への配慮 ・クロールの泳法を理解しているか	○	○	○	3
	サッカー	各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6
	ダンス	創作ダンス 課題学習（課題の連続・大回りー小回り）	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	ダンス	創作ダンス 課題学習（課題の連続・大回りー小回り）	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	6

指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	サッカー	各種パスの名前とやり方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ルールの理解 ・キックの技術 ・安全への配慮	○	○	○	6
			・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング				4
11月	ダンス	創作ダンス 課題学習（課題の連続・大回りー小回り）	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	6
	バスケットボール	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	ダンス	課題学習（課題の連続・大回りー小回り）	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	4
	バスケットボール	各種パスの名前と投げ方を覚える。 ドリブルができるようになる。 シュートを打てるようになる。	・授業に臨む意欲、態度 ・ストローク技術 ・安全への配慮 ・ゲームでのポジショニング	○	○	○	6
1 月	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	6
	ダンス	課題学習（課題の連続・大回りー小回り）	・ボディーバランス ・身体の巧緻性 ・安全への理解 ・積極性と協力 ・練習の企画力	○	○	○	3
	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	・授業に臨む意欲、態度 ・安全への配慮 ・持久走の記録	○	○	○	6

	指導内容 【年間授業計画】	体育（女子）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	ダンス	フォークダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボディーバランス</li> <li>・ 身体の巧緻性</li> <li>・ 安全への理解</li> <li>・ 積極性と協力</li> <li>・ 練習の企画力</li> </ul>	○	○	○	3
3月	陸上（長距離走）	長距離を速く走れるようになる。 心肺機能を向上させるとともに、走る距離を伸ばしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に臨む意欲、態度</li> <li>・ 安全への配慮</li> <li>・ 持久走の記録</li> </ul>	○	○	○	3
	ダンス	フォークダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボディーバランス</li> <li>・ 身体の巧緻性</li> <li>・ 安全への理解</li> <li>・ 積極性と協力</li> <li>・ 練習の企画力</li> </ul>	○	○	○	2

教科:(理科) 科目:(生物基礎) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:荻原 ㊟)(2組:荻原 ㊟)(3組:荻原 ㊟)(4組:荻原 ㊟)(5組:荻原 ㊟)(6組:荻原 ㊟)

使用教科書:i版 生物基礎(啓林館)

使用教材:生物基礎の基本マスター四訂版(啓林館)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象に関して、日常生活や社会との関連を図りながら、その現象を探究するために必要な科学的な視点を養うとともに、科学的な探求に必要な観察・実験とその過程の記録などの基礎的な技能を身に付ける。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、知識とデータを活用して探究する過程を通して、事象を科学的に考察する力を身に付ける。また、考察した結果を適切に表現する力を身に付ける。	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付ける。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。

	指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	生物の特徴と多様性	生物間には相違点があり多様であるが、共通性があることを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	3
	細胞と生物	生物の構造や機能は細胞によって維持されていることを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	代謝とエネルギー	ATPの合成と分解、吸エネルギー反応と発エネルギー反応の関係を説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
5月	中間考査			○	○	○	1
	DNAの構造	DNAの二重らせんモデルについての図を示しながら、塩基の相補性と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	DNAの複製	DNAが正確に複製される仕組みを、塩基の相補性と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月							
7月	DNAの発現	DNAの塩基配列が3つで1つのアミノ酸を指定することでアミノ酸配列に置き換わり、タンパク質が合成されるしくみを順を追って説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	期末考査			○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	恒常性と体液	体液の組成と，体内環境が一定に保たれているしくみについて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	神経系による調節	自律神経系によって，生命活動が適切な範囲で維持されていることを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5
	内分泌系による調節	体内環境がホルモンによって一定に保たれる機構を，自律神経系の調節と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	5

指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	中間考査		○	○	○	1	
	自然免疫のしくみ	非特異的な生体防御機構について説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	3
11月	獲得免疫のしくみ	体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみについて、異物の排除機構の違いに着目して説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	6
	免疫と病気	免疫が実際の病気やその治療法とどのように関わっているのか説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
12月	期末考査			○	○	○	1
1月	植生と遷移	植生が移り変わっていく過程を、多様な植生を生み出す植物の環境適応と関連付けて説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	遷移とバイオーム	非生物的環境の違いによって、地球上には様々なバイオームが成立していることを説明できる。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4
	生態系における種多様性とその関係	生態系の成り立ちにおける生物の役割や、生物間の関係について理解している。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	4

	指導内容 【年間授業計画】	生物基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	人間生活と生態系	生物多様性の保全の重要性を理解し、環境保全に寄与する態度を身に付けている。	実験観察への態度 ワークシートの取り組み 発問への解答 等	○	○	○	3
3月	学年末考査			○	○	○	1

教科:(数学) 科目:(数学A) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:稲本 ㊟)(2組:満洲 ㊟)(3組:満洲 ㊟)(4組:稲本 ㊟)(5組:満洲 ㊟)(6組:稲本 ㊟)

使用教科書:[改訂版]新数学A

使用教材:[改訂版]ニューファースト新数学A

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
				○	○	○	
4月	集合	集合の記号・公式を理解し、利用できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	集合	集合の基本的な問題を演習し、特に交わりと結びについて理解を深める。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
5月	樹形図、和の法則	樹形図や和の法則を用いて、場合の数を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
	積の法則	積の法則を用いて、場合の数を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	順列	順列の用語、記号、公式を理解し、利用できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	中間考査			○	○	○	1
	順列の練習	1列に並ぶ場合の順列について考察していく。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
	円順列と重複順列	順列、円順列、重複順列の違いの違いに興味・関心を持てるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	順列の利用	文章題を中心とした問題演習をしていく。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	組合せ	組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
7月	組合せ	組合せの用語、記号、公式を理解し、利用できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	期末考査			○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	確率の計算	確率の定義に基づき、事象の確率を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	確率の計算	確率の定義に基づき、和事象・積事象等の確率を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	確率の計算	確率の定義に基づき、余事象等の確率を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	復習	集合・順列・組合せ・確率などについて復習をする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	確率の計算	確率の定義に基づき、独立な試行・反復試行の確率を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	確率の計算	確率の全般的な復習をしながら、条件付き確率について考察する。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	3
	確率の計算	確率の全般的な復習をしながら、期待値について考察する。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	中間考査			○	○	○	1
11月	約数と倍数	今まで学習してきた自然数、整数の体系について考察する。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	素因数分解	自然数を素因数分解することができ、自然数の正の約数の個数やその和を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	最大公約数と最小公倍数	整数と公約数と最大公約数、公倍数と最小公倍数を理解し、それらを求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	最大公約数と最小公倍数	素因数分解を利用して最大公約数と最小公倍数を求める方法を理解し、それらを求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	復習	約数と倍数・素因数分解などについて全般的な復習をする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
	期末考査			○	○	○	1
	割り算における商と余り	割り算における商と余りを理解することができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
1 月	ユークリッドの互除法	互除法の原理を理解し、互除法を用いて最大公約数を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	ユークリッドの互除法	互除法の原理を理解し、互除法を用いて最大公約数を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	1次不定方程式	1次不定方程式の整数解を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
	1次不定方程式	1次不定方程式の整数解を求めることができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	有理数の少数表現	分数を有限小数や循環小数で表すことができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	有理数の少数表現	有限小数や循環小数を分数で表すことができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
	n進法	10進法、位取り記数法、n進法、10進法について理解し、2進法を10進法で表し、10進法を2進法で表すことができるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	2
3月	期末考査			○	○	○	1
	三角形の外心、内心、重心	外心、内心、重心の性質を用いて、具体的な問題を処理できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1
	三角形の辺の比の定理	チェバの定理・メネラウスの定理を用いて、具体的な問題を処理できるようにする。	演習、机間指導、行動観察	○	○	○	1

教科:(数学) 科目:(数学Ⅰ) 単位数:3単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:山本・加藤(裕)・相本(悠))(2組:山本・加藤(裕)・相本(悠))(3組:山本・加藤(裕)・相本(悠))(4組:山本・加藤(裕)・相本(悠))(5組:山本・加藤(裕)・相本(悠))(6組:山下・加藤(裕)・相本(悠))

使用教科書:数学Ⅰ Select(東京書籍)

使用教材:Select Buddy CANVAS 数学Ⅰ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	数学Ⅰの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
				○	○	○	
4月	中学の内容の復習	正負の数および文字式の四則演算の確認をする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
	整式	単項式や多項式、整式、次数、係数、項について理解し、同類項をまとめて整式を整理することができる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	整式の加法・減法・乗法	整式の加法・減法は、同類項をまとめることによってできることを理解し、計算することができる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
5月	因数分解	中学校で学習した簡単な一次式の乗法や乗法公式を用いる簡単な式の展開及び因数分解を復習する。また、式の展開及び因数分解を扱い、式を目的に応じて変形したり、式を見通しをもって扱ったりすることができる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	実数	数の体系を実数まで拡張する意義に気づかせ、数の概念についての理解を深める。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
	根号を含む式の計算	無理数の計算に関して、根号を含む式を扱い、簡単な無理数についてその四則演算ができるようになる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	1次不等式	不等式の解がどのように定まるかということについては、xに様々な値を代入して確認したり、数直線と対比させたりしながら、解の存在する範囲を理解させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	1次不等式	不等式の解がどのように定まるかということについては、xに様々な値を代入して確認したり、数直線と対比させたりしながら、解の存在する範囲を理解させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	1次不等式の応用	不等式の性質を基にして、一元一次不等式や連立一次不等式を解くことができるようにし、日常的な事象と関連づけて不等式を活用することができるようになる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
	1次不等式の応用	不等式の性質を基にして、一元一次不等式や連立一次不等式を解くことができるようにし、日常的な事象と関連づけて不等式を活用することができるようになる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
7月	集合	集合や命題について学習することにより、数学的な表現の基礎を身につけ、数学の内容をより深く厳密に扱うことができるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	命題と集合	命題について、集合の包含関係と関連付けて理解できるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
	命題と証明	数直線を利用して理解させ、命題の真偽を扱うことができるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	関数	関数の考え方について学び、その一つの例として中学校のときに1次関数や2次関数を学習したことを確認させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2
	2次関数とグラフ	中学校で学んだ関数を拡張して、一般の二次関数について考察する。グラフの対称軸（直線 $x=p$ ）や頂点（ $p, q$ ）に着目して、その特徴を帰納的に見いださせる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次関数とグラフ	中学校で学んだ関数を拡張して、一般の二次関数について考察する。グラフの対称軸（直線 $x=p$ ）や頂点（ $p, q$ ）に着目して、その特徴を帰納的に見いださせる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	4
	2次関数とグラフ	中学校で学んだ関数を拡張して、一般の二次関数について考察する。グラフの対称軸（直線 $x=p$ ）や頂点（ $p, q$ ）に着目して、その特徴を帰納的に見いださせる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	4
	2次関数の最大・最小	2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めることができるようになる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3

指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	2次関数の最大・最小	2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めることができるようになる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次関数の決定	グラフの対称性を利用し、放物線が通る点の座標から関数を具体的に求めることができることを理解する。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	4
	2次方程式	演習を通して、2次方程式の解法を確認する。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	5
11月	2次方程式	演習を通して、2次方程式の解法を確認する。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次関数のグラフと x 軸の共有点	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次関数のグラフと x 軸の共有点	2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次不等式	数量の関係を二次不等式で表し、二次関数のグラフを利用してその解を求めることができるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	4

指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
1 2 月	2次不等式	数量の関係を二次不等式で表し、二次関数のグラフを利用してその解を求めることができるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	2次不等式の応用	二次関数についての知識・技能などを具体的な事象の考察に活用させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
1 月	直角三角形と三角比	鋭角の場合について、正弦、余弦及び正接の意味を理解させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	直角三角形の辺と角	鋭角について、正弦、余弦及び正接を直角三角形の辺の比と角の大きさとの間の関係として導入し、身近な事象とも関連付けてそれらの意味を理解させるとともに、その有用性を認識させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	三角比の相互関係	鋭角の三角比についての相互関係を扱い、三角比の値のいずれか一つが決まれば、他の三角比の値を計算できることを理解させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	三角比と座標	xy平面上の単位円周上の点Pの座標をsinとcosを利用して表し、課題解決に生かす。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	数学 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	三角比の性質	三角比を鈍角や $0^\circ$ 、 $90^\circ$ 、 $180^\circ$ の場合まで拡張する。その際、鈍角の三角比の考え方に重点を置く。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	三角形の面積	正弦定理や余弦定理などの活用場面として、平面図形の計量を扱う。また、三角比や正弦定理、余弦定理などが、図形の計量の考察や処理に有用であることを認識させる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	空間図形の計量	正弦定理や余弦定理の性質を利用し、空間図形の計量に活用できるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
3月							
	データの整理と分析	統計の用語の意味やその扱いについて理解させるとともに、目的に応じデータを集集・整理し、四分位数、四分位範囲、四分位偏差、分散、標準偏差、散布図及び相関係数などに着目させ、データの傾向を的確に把握することができるようにする。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	3
	データの相関	生活の中で活用することや統計学とのつながりを一層重視し、生徒が意欲をもって学習を進めることができるように、テーマを選び、具体的な事象に基づいて授業を行う。散布図及び相関係数の意味を理解させるとともに、それらを利用してデータの相関を的確にとらえさせる。	演習、机間指導、観察、小テスト	○	○	○	2

教科:(社会) 科目:(公共) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:中川 ㊟)(2組:倉田 ㊟)(3組:中川 ㊟)(4組:中川 ㊟)(5組:中川 ㊟)(6組:倉田 ㊟)

使用教科書:実教出版

使用教材:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
人間と社会のあり方について、体系的に理解をし、応用することができる。	社会の問題に対して論理的に考え、解決に導くことができる。また、問題解決のために仲間と共同しながら自分の考えを表現することができる。	社会の中の多様性を理解して、仲間との協力、自分の感情のコントロール、相手への配慮ができる。

	指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	青年期とは	人生における青年期の意義を理解する。	知 宿題テスト	○			1
	自己形成の課題(1)	パーソナリティの理論を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	自己形成の課題(2)	青年期の発達課題について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
5月	職業生活と社会参加	社会参加の意義を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	伝統・文化と私たち	日本人の伝統的な自然観や倫理観の特徴について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	古代ギリシアの人間観	哲学者たちが追及した理想的な人間の生き方を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○			1
	科学と人間	近代ヨーロッパで生まれた科学的思考を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○	○	○	1
	自由の実現	自由についてのカントとヘーゲルの主張を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	社会を作る人間	社会参画や公共性の確立について思索した思想家たちの主張を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	人間と幸福	功利主義の考え方について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	公正な社会をめざして	ロールズやセンが考える社会の公正なあり方について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	人間の尊厳と平等	人間の尊厳と平等の原理の背景にある考え方を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
7月	自由・権利と責任・義務	自由・権利と責任・義務の関係を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○			2
	民主主義の成立	現代の国家がどのような性格をもっているかについて理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	民主主義の基本原理	社会契約説の考え方と、これを支えている自然法思想について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	民主主義のしくみと課題	国民主権の原理に基づく民主政治と、その実現のための基礎となる参政権について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	世界の主な政治制度	各国の政治制度について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	日本国憲法の成立	日本国憲法の特徴を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	日本国憲法の基本的性格	憲法の最高法規性を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	自由に生きる権利	自由権について、具体的な判例を通じて理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	平等に生きる権利	差別について具体的な判例を通じて理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	社会権と参政権・請求権	日本国憲法における社会権の規定を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	新しい人権	新しい人権について時代の流れとともに理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
10月	人権の広がり と 公共の福祉	社会が変化するなかで、人権侵害の主体が国家だけでなく社会的権力や私人へと拡大したことを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○			1
	平和主義とわが国の安全	平和主義が確立した背景について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	こんにちの防衛問題	自衛隊が海外に派遣される端緒となった1990年代の動きを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	政治機構と国会	憲法で国会がどのように位置づけられているか理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
11月	行政権と行政機能の拡大	議院内閣制のしくみを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	公正な裁判の保障	公正な裁判を実現するための諸制度を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	地方自治と住民福祉	地方自治の意義を考えさせ、その組織と制度を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	政党政治	政党の役割や目的を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	選挙制度	日本の選挙のしくみと課題を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	世論と政治参加	マス・メディアやSNSなどのインターネットが世論に与える影響について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○			2
	経済主体と経済活動の意義	人間にとって経済活動とは何かを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	経済社会の変容	資本主義と社会主義の違いを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	市場のしくみ	財やサービスに関して、需要量、供給量と価格との関係を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
1 月							
	国民所得	国民総生産や国民所得は、付加価値の総計であることを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	経済成長と国民の福祉	経済成長や景気変動、物価の変動といった経済現象を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	金融の役割	経済活動における金融の意味を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	2
	日本銀行の役割	日本銀行が物価や景気の安定に果たす役割を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	財政の役割と租税	財政とは、何を目的に、どのような経済活動をおこなうものなのかを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1

指導内容 【年間授業計画】	公共の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
2月	日本の財政の課題	消費税導入以降、どのような税制改革がなされてきたのかを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	戦後日本経済の成長と課題	戦後日本経済の大きな流れを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	転機に立つ日本経済	21世紀の日本経済の課題を理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	経済社会の変化と中小企業	中小企業の定義を理解し、大企業との関係を把握する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
3月	農業と食糧問題	戦後の日本農業がどのような政策のもとで進められてきたのかを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート	○			1
	消費者問題	典型的な悪徳商法の手口を学び、その対策を考える。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	公害の防止と環境保全	産業公害がなぜ発生したのかを考察する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	労働問題と労働者の権利	労働基本権について理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1
	こんにちの労働問題	日本的雇用とはどのようなものなのかを理解する。	関・思・技・知 授業態度 ワークシート		○	○	1

教科:(社会) 科目:(地理総合) 単位数:2単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:川澄 ㊟)(2組:川澄 ㊟)(3組:川澄 ㊟)(4組:川澄 ㊟)(5組:川澄 ㊟)(6組:川澄 ㊟)

使用教科書:高校生の地理総合(帝国書院)

使用教材:新詳高等地図(帝国書院)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
地図などの見方・考え方とその活用を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、社会と自然の事物・現象を地理的・科学的に探究する技能を身に付ける。	社会と自然の事物・現象の中に問題を捉え、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現する力を身に付ける。	社会と自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするともに、地理的見方・分析力・判断力を身に付ける。

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知 思 態			予定時数
				知	思	態	
4月	初回オリエンテーション	・授業の受け方や持ち物、評価などについて理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	1
	6大陸3大洋	・代表的な世界の国々の名称と位置を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	地上の現象と地球上の位置	・白夜の地域と日本とを比較させ、緯度や経度の基本的なしくみを理解する。 ・地球の自転と公転が季節に関係していることを捉える。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
5月	経度の違いと時差	・経度の違いと時差のしくみについて理解する。 ・時差の計算方法を身につける。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	球面と平面の世界	・球面である地表面を平面である世界地図に表現する際に生じるひずみについて理解する。 ・正積図、正距方位図、正角図の特徴と利用方法を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	国家の領域と国境 日本の領域	・国家の領土、領空、領海の範囲について理解する。 ・日本の位置と排他的経済水域の範囲を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	中間考査			○	○	○	1
	世界の大地形と人々の生活 山地・平野の地形と人々の生活	・地形を形成する内的営力と外的営力について理解する。 ・河川がつくる山地や平野の地形の種類を知る。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	海岸の地形と人々の生活 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	・海岸で見られる地形の特徴とその利用法について理解する。 ・氷河地形、カルスト地形、乾燥地形の特徴と人々の生活との関わりについて理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	海岸の地形と人々の生活 水河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	・海岸で見られる地形の特徴とその利用法について理解する。 ・氷河地形、カルスト地形、乾燥地形の特徴と人々の生活との関わりについて理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
7月	期末考査			○	○	○	
	生活と気候のかかわり 熱帯の気候と人々の生活	・ケッペンの気候区分と分布の特徴を理解する。 ・熱帯の気候区の分布と人々の生活について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	1
			関・思・技・知 ワークシート				2

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	中国に関する学習 ・自然環境 ・歴史と社会 ・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内での自然環境の地域差を理解する。</li> <li>・中国の人口問題とその解決策について考察する。</li> <li>・中国が抱える農業の問題を理解する。</li> </ul>	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	中国に関する学習 ・工業と資源 ・生活の変化と格差 まとめ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の資源とエネルギーの課題について理解する。</li> <li>・経済格差とその格差を埋めるための対策について考察する。</li> </ul>	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	2
	東南アジアに関する学習 ・自然環境 ・歴史と民族 ・農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの自然環境について、モンスーンの特徴に着目して理解する。</li> <li>・植民地支配とモノカルチャー経済との関係を理解する。</li> <li>・盛んに行われている稲作について理解する。</li> </ul>	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	東南アジアに関する学習 ・工業の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各国で進められた工業化の特徴を理解する。</li> <li>・ASEAN域内の結びつきと近隣諸国との関係について理解する。</li> </ul>	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	インドに関する学習 ・自然環境 ・宗教 ・産業の発展	・インドとその周辺の自然環境について理解する。 ・ヒンドゥー教の特徴について理解する。 ・成長するインドの工業とIT産業について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	サハラ以南のアフリカに関する学習 ・自然環境 ・歴史と文化	・アフリカの自然環境の特徴を理解する。 ・ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	中間考査			○	○	○	1
11月	サハラ以南のアフリカに関する学習 ・経済	・モノカルチャー経済をめぐる様々な問題について理解する。 ・南アフリカ共和国の変化を人種問題を通して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	ヨーロッパに関する学習 ・自然環境 ・文化	・ヨーロッパの多様な地形や気候について理解する。 ・キリストに深く結びついた文化と宗教や言語の多様性について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	ヨーロッパに関する学習 ・産業	・自然環境に対応したヨーロッパの農業について理解する。 ・ヨーロッパの盛んな工業について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	ヨーロッパに関する学習 ・統合とその課題	・EUへの統合への歩みと、歩みが進んでいる理由を考察する。 ・EUの統合、拡大によってどのような課題を抱えるようになったのか理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査		関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	1
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・自然環境 ・移民の歴史	・自然環境に関して、地形や気候の東西差に注目して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
1 月	アメリカ合衆国に関する 学習 ・自然環境 ・移民の歴史	・自然環境に関して、地形や気候の東西差に注目して理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・移民の歴史と多文化社会 ・農業	・移民の歴史を学び、他民族・多文化社会が形成された過程を理解する。 ・自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	アメリカ合衆国に関する 学習 ・産業 ・工業	・工業の変遷について理解する。 ・最先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
	オーストラリアに関する 学習 ・自然環境	・オーストラリアとその周辺の自然環境について、内陸部と沿岸部の違いに注目し、理解する。	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	地理総合の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	オーストラリアに関する学習 ・産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に適した農業が行われていることを理解する。</li> <li>・エネルギー資源の豊富なオーストラリアの鉱工業について理解する。</li> </ul>	関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	3
3月	学年末考査		関・思・技・知 ワークシート	○	○	○	1

教科:(国語) 科目:(言語文化) 単位数:3単位 対象:(第1学年)

教科担当者:(1組:矢口・川村 ㊟)(2組:相川・川村 ㊟)(3組:矢口・川村 ㊟)(4組:相川・川村 ㊟)(5組:矢口・川村 ㊟)(6組:相川・川村 ㊟)

使用教科書:数研出版

使用教材:改定版新編 言語文化

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	①他社とかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。 ②言葉による見方考え方を働かせ、言語活動を通じて思考力や想像力を伸ばす。	①言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養う。 ②我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	◆授業規律や科目目標を理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				1
	小説「とんかつ」	◆謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、セリフや行動から人物像と心情を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		2
	小説「とんかつ」	◆謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、セリフや行動から人物像と心情を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
5月	古典文化・常識 (教科書後ろのページ) 月、刻、地名など 動詞の活用	◆古典作品を読む上で必要な文化、常識を確認し、理解する。動詞の活用も触れ、復習をする。次の『奥の細道』で触れる地名も事前的に理解する。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	中間考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査				1
	・現代仮名遣い ・いろは歌 ・五十音	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	古文「児のそら寝」 ・現代仮名遣い ・いろは歌 ・五十音	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	古文「児のそら寝」 ・現代仮名遣い ・いろは歌 ・五十音	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	古文「児のそら寝」 ・現代仮名遣い ・いろは歌 ・五十音	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	徒然草『丹波に出雲といふ所あり』	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	徒然草『丹波に出雲といふ所あり』	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	徒然草『丹波に出雲といふ所あり』	◆古典の文章に慣れるとともに、現代における人物造形のおもしろさを読み取る。 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
7月	期末考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	文学史 ・芥川龍之介（羅生門を 読む上での準備）	◆9月からの『羅生門』に向けて、作者芥川龍之介についてや、その時代の文学史に触れ、その時代の作風を学ぶ。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		4
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	4
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		4
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	4
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		4
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
10月	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○		○	3
	中間考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
11月	小説「羅生門」	◆下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	漢文入門 p 258～265 ・返り点 ・書き下し文 (助字・置き字でできたら)	◆返り点、書き下し文等漢文を読む上での基礎知識を身に着ける。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	漢文入門 p 258～265 ・返り点 ・書き下し文 (助字・置き字でできたら)	◆返り点、書き下し文等漢文を読む上での基礎知識を身に着ける。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	漢文入門 p 258～265 ・返り点 ・書き下し文 (助字・置き字でできたら)	◆返り点、書き下し文等漢文を読む上での基礎知識を身に着ける。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	漢文入門 p 258～265 ・返り点 ・書き下し文 (助字・置き字でできたら)	◆返り点、書き下し文等漢文を読む上での基礎知識を身に着ける。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○		○	3

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1
1 月	漢文「矛盾」 故事成語	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	漢文「矛盾」 故事成語	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	漢文「矛盾」 故事成語	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	漢文「矛盾」 故事成語	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
							3
	漢文『唐詩の世界』 春曉 春望	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3

	指導内容 【年間授業計画】	言語文化の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
2月	漢文『唐詩の世界』 春曉 春望	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	3
	漢文『唐詩の世界』 春曉 春望	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○		3
	漢文『唐詩の世界』 春曉 春望	◆漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを 知る。	知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査		○	○	
3月	学年末試験		知・技・思・判・表・態 プリント 定期考査	○	○	○	1

教科:(国語) 科目:(現代の国語) 単位数:2単位 対象:(第1学年)  
 教科担当者:(1組:松下 ㊟)(2組:松下 ㊟)(3組:松下 ㊟)(4組:飯田 ㊟)(5組:倉部 ㊟)(6組:飯田 ㊟)  
 使用教科書:新編 現代の国語(数研出版)  
 使用教材:新編 現代の国語準拠ワーク(数研出版)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や的確に判断する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、効果的に表現する資質・能力を育成する。	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって自己を向上させ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしていこうとする態度を養う。

	指導内容 【年間授業計画】	現代の国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
4月	オリエンテーション	授業への取り組み方、身に付けるべき力、評価の仕方等について理解する。				○	1
	他者と関わる 「風が通るとき」	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の動物と比較して述べられるヒトの特性について読み取る。</li> <li>筆者が指摘する現代の過剰なつながりについて話し合い、他者とのよりよい関係について考える。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
5月							
	他者と関わる 「風が通るとき」	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の動物と比較して述べられるヒトの特性について読み取る。</li> <li>筆者が指摘する現代の過剰なつながりについて話し合い、他者とのよりよい関係について考える。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	中間考査			○	○		1
	対比を読み取る 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。</li> <li>日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
							2
	対比を読み取る 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。</li> <li>日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	対比を読み取る 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。</li> <li>日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	現代の国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
6月	対比を読み取る 「水の東西」	・二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。 ・日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	社会の中で生きる/言語活動の実践 テーマを決めて話し合おう	・話し合いの手順を理解し、テーマを選んでグループで話し合い、結論をまとめる。	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	社会の中で生きる/言語活動の実践 テーマを決めて話し合おう	・話し合いの手順を理解し、テーマを選んでグループで話し合い、結論をまとめる。	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
7月	期末考査			○	○		1
	語彙を増やそう 熟語	・二字熟語、三字熟語、四字熟語の主な構成を理解する。	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
							1

	指導内容 【年間授業計画】	現代の国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
8月							
9月	社会の中で生きる/一歩でも動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の職業に向かう姿勢を読み取り、表現の意図を考える。</li> <li>・本文を踏まえて自分の将来の姿を思い浮かべ、今の自分へのアドバイスを話し合う。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
	社会の中で生きる/一歩でも動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の職業に向かう姿勢を読み取り、表現の意図を考える。</li> <li>・本文を踏まえて自分の将来の姿を思い浮かべ、今の自分へのアドバイスを話し合う。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	社会の中で生きる/一歩でも動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の職業に向かう姿勢を読み取り、表現の意図を考える。</li> <li>・本文を踏まえて自分の将来の姿を思い浮かべ、今の自分へのアドバイスを話し合う。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	社会の中で生きる/一歩でも動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の職業に向かう姿勢を読み取り、表現の意図を考える。</li> <li>・本文を踏まえて自分の将来の姿を思い浮かべ、今の自分へのアドバイスを話し合う。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	社会の中で生きる/一歩でも動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の職業に向かう姿勢を読み取り、表現の意図を考える。</li> <li>・本文を踏まえて自分の将来の姿を思い浮かべ、今の自分へのアドバイスを話し合う。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	話し言葉の技術/ディベート・討議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多様な視点から考える。</li> <li>・複雑な内容を相手にわかりやすく伝える。</li> <li>・相手の説明を聞いて論理的に批判する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2

指導内容 【年間授業計画】	現代の国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数	
中間考査			○	○		2	
10月	話し言葉の技術/ディベート・討議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多様な視点から考える。</li> <li>・複雑な内容を相手にわかりやすく伝える。</li> <li>・相手の説明を聞いて論理的に批判する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
	話し言葉の技術/ディベート・討議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多様な視点から考える。</li> <li>・複雑な内容を相手にわかりやすく伝える。</li> <li>・相手の説明を聞いて論理的に批判する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
	話し言葉の技術/ディベート・討議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多様な視点から考える。</li> <li>・複雑な内容を相手にわかりやすく伝える。</li> <li>・相手の説明を聞いて論理的に批判する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
11月	情報と向き合う/SNSに偶然はあるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。</li> <li>・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	情報と向き合う/SNSに偶然はあるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。</li> <li>・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	情報と向き合う/SNSに偶然はあるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。</li> <li>・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	情報と向き合う/SNSに偶然はあるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。</li> <li>・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	情報と向き合う/SNSに偶然はあるのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。</li> <li>・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2

	指導内容 【年間授業計画】	現代の国語の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	知	思	態	予定時数
1 2 月	期末考査			○	○		1
	書き言葉の技術/文章構造 を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章における文と文、段落と段落の関係を学ぶ。</li> <li>文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
	書き言葉の技術/文章構造 を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章における文と文、段落と段落の関係を学ぶ。</li> <li>文章の一貫性を高めるための工夫を理解する。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
1 月							
	筆者の主張を読み取る/ 「異文化を理解する」と は	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な「異文化理解」についての筆者の主張を理解する。</li> <li>本文を踏まえて複数の「境界線」の可能性を考え、異文化の新たな見え方をまとめる。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1
	筆者の主張を読み取る/ 「異文化を理解する」と は	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な「異文化理解」についての筆者の主張を理解する。</li> <li>本文を踏まえて複数の「境界線」の可能性を考え、異文化の新たな見え方をまとめる。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	筆者の主張を読み取る/ 「異文化を理解する」と は	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な「異文化理解」についての筆者の主張を理解する。</li> <li>本文を踏まえて複数の「境界線」の可能性を考え、異文化の新たな見え方をまとめる。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	筆者の主張を読み取る/ 「異文化を理解する」と は	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な「異文化理解」についての筆者の主張を理解する。</li> <li>本文を踏まえて複数の「境界線」の可能性を考え、異文化の新たな見え方をまとめる。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	2
	書き言葉の技術/比較する	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較によって仮説を立てる。</li> <li>類推によって新しい視点を導く。</li> </ul>	漢字小テスト【知】 授業態度の観察【態】 提出物【態】 発表・作文【思】	○	○	○	1

